

第34回地域医療現地研究会

桃源郷ふくしまで実践する 地域包括医療の 新たな連携

震災・復興・絆、そして未来へ

開催日

2020年

5/15・16

Fri.

Sat.

会場

ホテル福島グリーンパレス

福島県福島市太田町13-53

研究
施設

- 公立藤田総合病院
- 介護老人保健施設 桑折「聖・オリーブの郷」
- 特別養護老人ホーム「国見の里」

特別
講演

公立大学法人福島県立医科大学
常任顧問 菊地 臣一 氏

福島県

国見町
桑折町
福島市

義経まつり(国見町)

旧伊達郡役所(桑折町)

花見山と吾妻小富士の雪うさぎ(福島市)

桃源郷ふくしまで実践する 地域包括医療の新たな連携

震災・復興・絆、そして未来へ



★ 公立藤田総合病院



公立藤田総合病院は福島県中通り最北端の国見町に位置しており、昭和26年5月に2町6村により公立藤田病院組合が設置され、翌年に新築落成しました。昭和44年に現在の地に移転、現在の建物は3期に渡る工期を経て平成16年に完成しました。

平成25年の電子カルテ更新時に地域医療連携ネットワークシステムを準備し、地域のクリニックの先生方と医療情報の連携を図り、当院での治療状況をいつでも確認できるシステムの構築を図りました。当院には老健施設等の併設はありませんが、近隣の介護老人保健施設や特別養護老人ホームの協力病院となっているため、医師が病院の電子カルテを各施設でも使用可能としており、入所者の診療履歴を確認できるようにしています。

国保直診の公立病院として、地域包括医療の新たな連携を構築し、地域住民の医療・保健・福祉の向上に貢献していきたいと考えています。

★ 介護老人保健施設 桑折「聖・オリーブの郷」



桑折「聖・オリーブの郷」は、平成15年8月に信達平野の北部に位置する桑折町に長期入所及び短期入所の定員100名（内認知症専門棟40名）、通所リハビリテーション定員20名の介護老人保健施設として開設しました。開設に至るまでは桑折町を始め各関係機関の皆様にご尽力を頂きました。利用者のケアの充実に努める為、協力医療機関として公立藤田総合病院様と連携を深めています。また、当施設は介護保険制度に基づき、長期入所・短期入所・通所リハビリテーションにおけるサービスを、要介護者・要支援者に提供しています。医師・介護支援専門員・支援相談員・看護師・介護職員・管理栄養士・理学療法士等多職種の職員が協働して、利用者に応じた目標と支援計画を立て、必要な医療・看護・介護・リハビリテーションを提供しています。さらに利用者の在宅復帰・在宅支援の為の地域拠点の施設として、他サービス機関と連携して総合的に支援し、家族の介護負担の軽減に努めています。

★ 特別養護老人ホーム「国見の里」



平成24年9月に社会福祉法人厚慈会が設立され、翌年9月に特別養護老人ホーム「国見の里」を開設しました。「安心・信頼・奉仕」という法人理念のもとに、地域に根付き親しまれる施設運営を心がけております。「国見の里」は広々とした敷地を活かしたゆとりのスペースを確保し、建物は和風木造平屋造りで優しい木のぬくもりと穏やかな陽の光をふんだんにとり入れた居住空間を実現することができました。定員は特養90名、ショートステイ10名、デイサービス25名です。平成29年11月には同一敷地内に地域密着型の特別養護老人ホーム「国見の杜」（定員29名）とグループホーム「国見の丘」（定員18名）が開設され、地元国見町の老人福祉ニーズに応えています。特に医療サービスの協力契約を結んでいる公立藤田総合病院との強い連携は、介護重度化する利用者の信頼獲得に大きく寄与しています。